

# 横 浜



中

横浜市は2019年度から、横浜港・本牧ふ頭(同市中区)の沖合に計画している新本牧ふ頭を事業化し、埋め立て工事に着手する。コンテナ船の大型化や貨物量の増加に対応することで横浜港の国際競争力を高め、優位性を維持する狙いだ。

事業化するのは、本牧ふ頭D突堤と接する第1期地区で、埋め立てによる造成面積は約40畝。市は高度な流通加工機能を持つロジスティクス施設を集約する地区と位置付けている。19年9月に埋め立て免許を取得した上で10月に着工、27年ごろの完成を目指している。

事業費の概算は900億円。



主体となる国が事業期間などを検討している。市は13日に開かれ

円。そのうち、リニア中央新幹線建設に伴うトンネル掘

採で発生する土砂の受け入れを要請したJR東海が護岸整備費として600億円を負担する。国は直轄事業や国庫補助などで100億円を担い、市の負担分は200億円。造成した土地は市の所有となり、市が道路や上下水道などのインフラ整備を行った上で倉庫事業者などに土地を貸し付け、護岸の一部は水際緑地にして海釣りの場などとして広く市民に開放する。

第2期地区は世界最大級のコンテナ船2隻が着岸できるコンテナターミナル用地で造成面積は約100畝。水深18米以上、岸壁延長千メートル以上と、施行

西

横浜市西区の亀田病院の院内コンサートが回を重ね、入院患者や地域住民に喜ばれている。12月で78回目を迎え、バイオリニストのコー・ガブリエル・カメダさんの父親でコンサートを主催する同病院理事長の亀田正さん(78)は「演奏を聴くことで1人でも2人でも元気になってもらえれば」と話している。

コンサートは同院の新館建て替え後の2012年頃からスタート。亀田さんが以前勤務していたドイツや都内の病院でも行われていたことから同病院でも取り組みを始めた。亀田さんによると、音楽は病気の回復に役立つこともあり、病気の時にはクラシック音楽が合うという。

亀田さんは「病気は頭や心、体のバランスが取れていないときになるケースが多い。自然や音

## クラシックで健康に 亀田病院の演奏会好評



院内コンサートが行われる亀田病院の新館待合ホールに立つ亀田理事長

楽などの芸術に親しむことで回復につながることもある」と意義を話す。

ほぼ毎月第3土曜に行われ、入院患者や近隣住民ら約80人が毎回耳を傾ける。演奏は主に横浜市内在住および市内を拠点に活動するアーティストで組織する横浜音楽文化協会(同市西区)が担っている。

同協会所属の一流の演奏家が出演。毎回2、3人がお薦めのクラシック曲などを披露する。日頃、他の場所では聴くことのできない曲目もあり、遠方から訪れる人もいるという。

同協会も「地域住民の方々に音楽に親しんでもらっている。これからも音楽文化を発信していきたい」としている。

今月のコンサートは15日午後1時半から。出演はヴァイオリニストの児玉真理さん、チェロ奏者の迫本草子さん、ピアノの前田菜月さんの予定。入場無料。問い合わせは、同病院 ☎045(231)1881。

(鈴木 崇宏)

思いやりを福祉寄付金に  
神奈川新聞厚生文化事業団  
お問い合わせ

中

女性地位向上のために活動する「横浜ソングクラブ」

で約200人が出席して開かれた。

ジャズボーカリストの平賀マリカさんと、ジャズピアニストのハクエイ・キムさんが出演し、「星に願いを」や「4月のパリ」などを

席者らを魅了したII写真。同クラブは社会福祉のためと神奈川新聞厚生文化事業団、日赤県支部、かながわ女のスペース・みずらに寄付金を贈った。

町は12日

余財産のうち町を社会福

# バザール

「年賀状刷り」(無料)、「クリスマスカード作り」(無料、先着30人)の制作体験も実施。問い合わせは、同公園

は、同劇団制作の菅原さん ☎ (阪市橋) 横浜バックスプラ

住所 電話番号